

紀南病院通信

vol.89

2018年7月31日



紀南病院 地域研修

皆さんはじめまして。東京大学医学部附属病院からきました向井崇恭と、四日市羽津医療センターからきました岡崎貴大です。7月1日からの一ヶ月間、紀南病院にて研修を行わせていただきました。

紀南病院では、病院内にとどまらず、あらゆる場での医療の現場というものを経験させていただきました。とはいえ、それをここで述べてもあまり面白い記事にはならないと思ったので、ここではいかに我々が紀南という地を楽しんだか、写真と共に紹介していきたいと思います。

・消防署

119番通報をしました。「ここで掛けてもここ(熊野消防)に繋がるので大丈夫ですよ」と言われたので、ドキドキしながら生まれて初めての通報をしました。万が一隣の和歌山県にでも繋がってしまったらどうしようかと思いましたが、幸い無事熊野消防に繋がって一安心しました。その後も救急車や消防車に乗らせていただき、非常に少年心が刺激される経験でした。



・神島診療所



鳥羽からフェリーで40分の船旅の末にある離島、それが神島です。離島という限られた環境の中での医療を学ぶべく、小泉先生のご指導のもと、地元の祭に混ざりテントを建てたりひたすら焼き鳥を焼いたりしました。小泉先生も自作のダンボート(注：ダンボールで作成したボート。意外にも浮くことが多いが、時折当たり前のように沈む)に乗ってボートレースの頂点を取るべく奮闘されていました。良いところでした。

・紀和診療所

当院でも診療されている濱口先生が所長を務める紀和診療所へ、1日見学へ行ってきました。濱口先生はTシャツにGパンスタイルでした。神島診療所の小泉先生も同様でしたが、地域に行くほど白衣の必要性が薄れるのは興味深い発見でした。紀和には、風にそよぎ波立つ青田が連なる千枚田や、杉山を眺めつつ入浴できる湯の口温泉もあり、非常に癒される場所でした。



・ダイビング



厳密にいうと和歌山県なのですが、センター長鈴木先生とダイビングに行きました。人生初の経験でしたが、実際に生きている魚が目の前を泳いでいるという経験は中々に美しい光景でした。また、海の中でもパソコンをするという社畜代表みたいなこともしました。嘘です、撮影用のダミーです。とにかく、非常に楽しかったです。

・釣り

鵜殿港に、週に2~3回のペースで釣りに行ってきました。鵜殿の生態系を変えてやろうくらいの意気込みでしたが、当然のごとくそこまでは釣れません。ただ、もうサバは飽きました。アジを釣りたいのに釣れるのはいつもサバ、サバ、サバ……。アニサキスは怖いし、食べたら身体中が痒くなるのにももう疲れました。もう抗ヒスタミン薬を飲むのは嫌です……。まあ、そんな冗談はさておき、朝早くや仕事終わりに釣りに行く生活は、時間がゆっくりと流れているようでとてもよかったです。



以上、紀南での思い出でした。これだけ見ると遊んでばかりいたようですが、そしてまあ確かにそれは一つの真実ではありますが、それはそれとして紀南での研修はとて有意味で、色々勉強になりました。

一ヶ月間という短い間ではありますが、本当にありがとうございました。

東京大学医学部附属病院 向井崇恭

四日市羽津医療センター 岡崎貴大

